

教育委員会の点検・評価報告書

(令和2年4月～令和3年3月対象)

令和3年9月

館山市教育委員会

点検・評価報告書

1 点検・評価の期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 点検・評価の方法

第3期館山市教育基本計画（館山市教育大綱）（平成29年度～令和2年度）の事務事業の進捗状況等をもとに点検・評価を行いました。

また、館山市総合計画審議会において、意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

3 点検・評価の結果

別紙のとおり

4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

【基本目標1】子育て

互いに助け合い 誰もが健康で いきいきと暮らせるまち

第1節 子育て環境の充実

基本方針

- 多様な家族形態や保育ニーズに、きめ細かい対応ができる子育て支援サービスの充実を図ります。
- 地域ぐるみで親子を支える仕組みを構築し、子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

(1) 子育てしやすい環境づくりの推進

計画事業名	事業内容	担当課
子育て支援事業	保護者が必要とする施設や事業等の情報提供や病児・病後児保育事業の実施により、子育て支援を推進します。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援員を複数配置し、こども課窓口や地域の子育て支援事業等の利用に関し、寄り添い型の支援を実施しました。 ・病児・病後児保育事業を委託により実施しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○利用者支援員により、子育てのサービスが円滑に利用できるよう身近な場所で、子育て支援の情報提供及び必要に応じた相談ができるようになりました。 (対応件数：1,135件)</p> <p>▲コロナ禍における非接触相談の手法等の確立が課題です。</p> <p>○子どもが病気等で自宅での看護ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。 (述べ252人)</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用を控える傾向にあります。</p>	

幼稚園・こども園における保育サービスの充実	預かり保育の充実を図るとともに、私立幼稚園に対する運営支援を行います。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・北条幼稚園において、預かり保育を実施しました。 ・市内私立保育園4園及び私立幼稚園1園に対し、補助金を交付し運営費等の支援を行いました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○幼児保育の無償化により北条幼稚園の預かり保育も無償となりました。保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>○私立保育園や私立幼稚園に対し、補助金等を交付したことにより、教育・保育サービスの維持及び拡大を図ることができました。</p>	

	<p>▲多様化する保育ニーズへの対応及び検討が必要です。</p> <p>▲特別な支援が必要な園児の増加に伴う保育士等の負担軽減が必要です。</p> <p>▲全国的な保育士不足により、産休等に伴う代替保育士の確保が困難な状況となっています。</p>
--	---

幼児教育の充実	北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。	こども課
【実施状況】	<p>・幼児教育の無償化制度の開始にあわせ、北条幼稚園において預かり保育の無償化を始めました。</p> <p>・私立幼稚園に通う保護者に対し、私立幼稚園就園奨励費の助成を行う（令和元年度まで）とともに、新制度に移行しない無償化開始後は幼稚園利用料等の負担を軽減しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○預かり保育を実施したことにより、保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>○私立幼稚園就園奨励費の助成（令和元年度まで）及び無償化開始後の利用料の支給により、保護者へ経済的支援を行いました。</p> <p>▲共働き世帯の増加等の影響により保育所等のニーズが高まり、幼稚園への就園率が低くなっていることにより、幼稚園での集団教育・保育の提供が困難となっています。</p> <p>▲支援の必要な園児が増えているため、専門職員や施設整備が必要となっています。</p>	

元気な広場運営事業	子育て親子の交流や世代間の交流，子育てに関する相談及び情報提供を通じた子育ての不安解消を図るため，子育て支援拠点「元気な広場」の運営及び「出張子育てひろば」の実施とともに，会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進し，子育て支援ネットワークの拡充に努めます。	こども課
【実施状況】	<p>元気な広場及びファミリー・サポート・センター事業の運営は、指定管理により実施しています。新型コロナウイルス感染症予防対策として4月から5月臨時休館を行ないました。その後は、親子が安心して利用できる癒しの空間や、子育ての情報を入手できる講座及び育児相談等の企画をコロナ禍においても規模を縮小し提供しています。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○コロナ禍においても親子が安心して利用できる癒しの空間の他、子育ての情報を入手できる講座や育児相談の企画を提供することにより、子育てへの不安の軽減が図られています。</p> <p>元気な広場利用者数 延べ7,832人 出張子育てひろば利用者数（船形，九重，房南）延べ121人 ファミリー・サポート・センター事業活動件数 延べ 75件</p> <p>▲安心安全な利用ができるよう感染対策等施設整備が必要となっています。</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け、すべての利用を控えてしまう親子も見受けられます。</p>	

学童クラブ運営事業	小学校下校後に保護者が家庭にいない留守家庭児童の健全育成と安全確保のため、公設化等による安定的で質の高い学童クラブの運営に努めます。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が休業した期間も感染症予防対策を徹底し、学童を開所いたしました。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を進めるとともに、空気清浄機や加湿器を全学童へ設置し、施設整備や環境の改善を図りました。 ・船形、那古、北条：古い畳撤去、机・椅子設置 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次世代を担う児童の健全な育成の支援に繋がりました。</p> <p>▲コロナ禍においても利用希望者が増えています。特に高学年のニーズも高まっています。</p> <p>▲安定的な公設学童クラブ運営を図るため、感染症予防対策の強化と支援員の人材確保が課題です。</p>	

(2) 子育て家庭への支援の充実

計画事業名	事業内容	担当課
児童虐待防止ネットワーク事業	要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や、虐待を未然に防止するためのネットワーク体制の強化を図ります。	こども課
【実施状況】	令和2年度は、実務者会議を5回、個別支援会議を9回実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○関係機関と密接な連携により、虐待が疑われる事案等に対しては、早急に対応を図ることができました。</p> <p>▲虐待を未然に防ぐため、情報共有化を含めた更なるネットワーク体制の強化が必要です。</p> <p>▲要保護児童対策地域協議会に参加していない、他の教育関係機関等との連携についても拡大を図る必要があります。</p>	

(3) 子育て環境の整備

計画事業名	事業内容	担当課
保育園・幼稚園・こども園の整備充実	老朽化した施設の耐震性の確保や備品類の計画的な整備を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。	こども課 建築施設課
【実施状況】	<p>建物の改修や遊具の更新、空調機の更新・増設により園児の保育環境の改善を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山幼稚園：トイレ改修、遊具更新、北棟污水管改修 ・幼稚園、保育園、こども園 計11園：空調機点検清掃 ・館野保育園：空調機更新7台 ・中央保育園：電気工事、トイレ・手洗い流し改修 ・純真保育園：滑り台更新、トイレ洋式化、調理室空調機増設 ・九重こども園：調理室トイレ洋式化 	

	・船形こども園：トイレ洋式化
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○改修工事や遊具の更新工事により、適切な施設運営を図ることができました。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ洋式化や空調機更新・増設により衛生環境が向上しました。 ▲老朽化した施設の将来的な整備や子どもの人数の減少を考慮した施設の適正規模及び運営形態について検討が必要です

保育園・幼稚園・こども園における安全対策の充実	園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や施設管理の充実、安全体制の強化を図ります。	こども課 建築施設課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対し、アレルギー等に対する情報提供を行い、アレルギー対策への周知徹底を図りました。 ・施設や遊具等の定期的な点検を行い危険要因の除去を実施しました。 ・園内の新型コロナウイルス感染防止対策を進めるとともに、保護者への感染防止の周知徹底を図りました。 ・館山幼稚園：屋根防水・外壁補修，遊具解体 ・幼稚園，保育園，こども園：AEDパッド交換，遊具点検委託 ・純真保育園：園庭コンクリート撤去，ブロック塀補修 ・九重こども園，船形こども園：遊具解体撤去 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○多様化するアレルギーに対し、情報を共有することができ、事故防止につながりました。</p> <p>○施設内の定期的な点検等の実施により、安全性に問題がある遊具及びブロック塀等の危険箇所を早期に発見、補修し、園児の安全を確保しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染防止対策の結果、園内での感染を防ぐことができました。</p> <p>▲危険箇所等の改修を行うため、予算の確保が必要です。</p> <p>▲災害や犯罪等から園児を守るため、関係団体等との更なる連携・協力体制の強化が必要です。</p>	

【基本目標2】教育・文化

地域への誇りと愛着を持ち 心豊かな人材が育つまち

第1節 学校教育の充実

基本方針

- 「生きる力」を育成するため、「確かな学力・豊かな心・健やかな心」を育てる教育活動を推進します。
- 地域資源・地域人材を活用した特色のある教育を推進します。
- 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる教育環境の整備・充実に努めます。

(1) 「生きる力」を育成する教育の推進

計画事業名	事業内容	担当課
「生きる力」を育成する教育の推進	学力向上プロジェクト委員会の充実や学力向上推進コーディネーターの有効活用などにより、小中一貫した教育活動を推進します。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに小中学校が連携し、学力向上プロジェクト委員会を設置し「確かな学力」を育むための研究を実施するとともに、情報交換を行う機会を設けました。 ・一中，二中，三中学区に学力向上推進コーディネーターを配置しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○学力向上プロジェクト委員会や学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まりました。</p> <p>▲学校教育における総合的な課題として、教職員の負担軽減のための方策が挙げられます。</p>	
福祉・環境・キャリア教育の推進	学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。	教育総務課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている児童生徒の職場体験、中学生の福祉の心を育てる事業（幼児とのふれあい）は中止となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲地域での職場体験や福祉の心を育てる事業とともに、これからの時代を生き抜いていく児童生徒のキャリア形成のため、近年注目されている新たな分野の職業に触れる機会も必要と考えます。	
国際理解教育の推進	小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手（ALT）を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。	教育総務課

【実施状況】	民間委託による外国語指導講師（A L T）を小学校に3名、中学校に2名配置しました。
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○授業でネイティブな発音を聞くことができ、またA L Tの出身国の文化を知ることができました。 ▲小学校では令和2年度から外国語教育が教科化され、教員の授業力等の向上が課題となっています。

情報（モラル）教育の推進	高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業において、調べ学習などを行う際、校内設置のパソコンやタブレット端末を活用するなど、情報知識や技術の習得を推進しています。 ・情報モラルについて校内研修を行うとともに、携帯電話やインターネットなどの活用方法に関する指導を行っています。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童生徒の情報機器等の活用能力が向上しています。 ▲国の進めるG I G Aスクール構想に伴い、令和3年度から本格的に導入される通信環境や、一人一台タブレット端末・大型モニターなど、これまで以上に教職員のI C T機器等を活用した指導技術を高める手立てが必要です。	

学校における食育の推進	栄養や食習慣に関する正しい知識を指導し、児童生徒の健全な育成を図ります。	教育総務課
【実施状況】	<p>栄養教諭が、給食の時間に各小中学校に出向き、食に関する指導として、食事の重要性や、身体の成長に大きな役割があることについて指導していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、希望する学校のみ巡回指導を行いました。</p> <p>また、希望する学校に、家庭科や学級活動の時間に栄養教諭による給食を題材にした授業や食事の習慣についての授業を実施しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中ではありましたが、可能な範囲で栄養や食習慣に関する正しい知識を深めることができました。 ▲新型コロナウイルス感染症の影響で、すべての学校で栄養教諭による巡回指導や授業実践を行うことができなかったため、I C T機器を活用するなど指導方法を工夫し、全ての小中学校へ計画的・意図的に指導できるように検討していきます。	

小・中学校体育振興の推進	陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体位・体力の向上を図ります。	教育総務課
【実施状況】	児童生徒の体育振興を目的とし、館山市小中学校体育振興会に業務を委託しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、活動が大きく制限される中で、どのように児童生徒の体育実技や体力の向上を図るか検討する必要があります。	

	▲少子化に伴い、体育授業での団体競技の実施、中学校においては部活動の維持が難しくなっている現状があります。	
生活習慣病予防検診事業	生活習慣病の早期発見や適切な指導のため、児童生徒に対する検診を実施し、疾病の減少及び予防を図ります。	教育総務課
【実施状況】	小学校5年生及び中学校2年生を対象として検診を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲新型コロナウイルス感染症の影響により、個別指導が中止となりました。	

特別支援教育体制の推進	障害のある児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活支援等を行うため、幼稚園・小中学校に特別支援教育学習支援員を配置しました。 ・特別な支援を要する幼児が、円滑に小学校生活に移行できるよう、各園において保護者との教育相談を行いました。 ・館山市教育支援委員会専門家チームによる巡回相談を実施するとともに、医療機関をはじめ、庁内関係課、民間事業者との連携を強化しています。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○特別支援教育学習支援員の配置により、児童生徒の学習等の支援だけでなく、教職員指導補助も行うことで、負担軽減に繋がっています。</p> <p>○関係機関との連携を強化することにより、継続的、多角的に児童生徒及び保護者の支援を行うことができました。</p> <p>▲支援を必要とする児童生徒が増加しているため、校内、園内の相談体制の充実、支援員の増員が必要です。また、支援を要する児童生徒が増加している原因や、他自治体の優れた支援体制等の研究を通し、長期的な視点での取組を行う必要があります。</p>	

教育相談体制の充実	子どものさまざまな悩み（学力や人間関係、いじめ等）に対する教育相談体制の充実を図ります。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターを運営し、不登校児童生徒の支援を行いました。 ・スクールカウンセラー配置校を中心に、小中学校の教育相談体制の充実を図るとともに、適応指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。 ・各校で教育相談日を設け、子供の悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。 ・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。 ・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について情報の共有を図りました。 ・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実 	

	施し、その結果をもとに個別指導にあたりました。
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○教育支援センターが設置されていることにより、不登校児童生徒の学習支援等を行うことができました。 ○心理テストを実施し、客観的・多面的な診断結果によって、学級状態の把握、児童生徒の理解が深まりました。 ▲長欠、不登校の児童生徒の解消に向け、更なる手だてが必要です。

安全対策の充実	災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校において教職員の危機管理意識の向上を図っています。 ・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行いました。 ・通学路危険箇所について、館山市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組んでいます。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○交通安全だけでなく、防災、防犯の視点からも通学路を点検することで、通学路の安全対策が進んでいます。 ▲通学路の安全対策については、学校職員だけでは対応が困難なことから、保護者、地域住民、関係機関等との更なる連携が必要です。	

教職員研修の充実	教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。	教育総務課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比較して規模は縮小したものの、年間を通じて、職務別研修、事務分掌・教科別研修を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○生徒指導上の諸課題や学級経営、また、特別支援教育、外国語教育、ICT教育、学校事務に関する知識が広まりました。 ▲新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止・延期、またはオンライン等代替手段での実施となりました。 ▲研修機会の増加による教職員の業務削減とのバランスが課題です。	

(2) 教育活動の充実

計画事業名	事業内容	担当課
特色ある学校づくり	地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生、中学校2年生が歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施しました。 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。 	

【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○歴史副読本「さとみ物語」を活用した学習により、館山という地域を再発見することができました。</p> <p>○社会科、生活科、総合的な学習の時間では、地域への理解や良さを学ぶ機会になりました。</p> <p>▲地域の方々を講師に招いての学習や、地場産業の体験は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することはできませんでした。</p> <p>▲地域人材の活用について、協力してくれる人材の高齢化があり、新たな人材を確保する必要があります。</p>
----------------------	--

芸術・文化による豊かな心の育成	児童生徒へ優れた芸術に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。	教育総務課
【実施状況】	・国、県、各種団体の文化芸術に関する事業を小中学校に紹介し、各校の状況に応じて活用しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○音楽祭や学芸展などは中止となりましたが、各校において可能な範囲で文化芸術活動を実施し、児童生徒の豊かな心の育成に繋がっています。</p> <p>◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。</p>	

(3) 就学・通学への支援

計画事業名	事業内容	担当課
就学費援助事業	経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。	教育総務課
【実施状況】	<p>要保護及び準要保護児童生徒に対し、就学援助費(学用品費、校外活動費、学校給食費等)を支給しました。</p> <p>※令和2年度実績</p> <p>3月末現在認定者数</p> <p>【要保護】 (小) 9名, (中) 5名</p> <p>【準要保護】 (小) 153名, (中) 106名</p> <p>支給額 (小) 10,424,445円, (中) 9,941,556円</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○経済的理由で就学が困難な児童生徒への援助により、保護者負担が軽減され、教育の機会均等を保つことに資しています。</p> <p>▲要保護・準要保護児童生徒が増加傾向にあります。</p> <p>(平成25年5月8.04% → 令和3年3月9.29%)</p>	

ふるさと創生奨学資金貸付事業	経済的理由により、義務教育終了後の就学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。	教育総務課
【実施状況】	<p>経済的理由で高校・大学等に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を失うことなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するための援助を行っています。</p> <p>※令和2年度実績</p> <p>3月末現在貸付者 19名</p> <p>3月末現在返還者 42名</p>	

【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	▲経済的支援が重要となっている一方、奨学資金の返還が滞っている者への督促が課題となっています。
--------------------------------------	--

遠距離通学支援事業 (スクールバス運行事業・通学費補助事業)	学校統合により、遠距離通学となった地域の児童生徒に対する通学支援を行います。	教育総務課
【 実施状況 】	遠距離通学費の無償化と共に、スクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学に資しています。	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られています。 ○市が所有するスクールバスを運行することにより、通学時の児童生徒が、安全に通学できています。	

(4) 教育環境の整備・充実

計画事業名	事業内容	担当課
学校施設の整備充実	学校施設の耐震化を図るとともに、防音対策など、学習環境向上のための施設整備や、老朽化した学校施設の改修を行います。	教育総務課 建築施設課
【 実施状況 】	<ul style="list-style-type: none"> ・豊房小学校低学年棟トイレ改修工事が完了しました。 ・那古小学校体育館及び第一中学校体育館の非構造部材（バスケットゴール、照明器具等）の耐震対策工事が完了しました。 ・第一中学校体育館トイレ改修工事が完了しました。 ・館山中学校開校に向け、旧第二中学校の改修工事が完了しました。 ・（仮称）第二・第三統合中学校建設工事実施設計（新校舎）が完了しました。 	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○豊房小学校低学年棟のトイレ改修工事が完了し、児童の生活環境が改善されました。</p> <p>○那古小学校体育館及び第一中学校体育館の非構造部材の耐震対策工事が完了し、施設の安全性が向上しました。</p> <p>○第一中学校体育館のトイレ改修工事が完了し、生徒の生活環境が改善されました。</p> <p>○館山中学校開校に向け、旧第二中学校の施設全体の改修工事及び部活動等で利用する近隣施設の改修工事を実施しました。統合により、生徒数・クラス数が増加するため、教室や駐輪場等の改修・整備を実施し、開校に向け、学校施設の準備を進めることができました。</p> <p>○館山中学校の実施設計が完了し、旧第三中学校校舎解体工事及び新校舎・武道場建設工事に向け、準備を進めることができます。</p>	

学校給食センターの整備・運営	安全かつ安定した学校給食の提供を図るため、新センター建設に向けた取組を進めます。	学校給食センター
【実施状況】	令和2年6月末完成を予定していたPFI方式による新センター建設は、元年台風とコロナ禍の影響により工期が延び、10月末に完成しました。開業準備期間を経て、令和3年1月から学校給食の提供を開始しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○令和元年台風により休止していた通常給食の再開は、子どもたちや保護者に大変喜ばれています。また、PFI事業者により建設・維持管理・運営までを一体的に実施する体制に移行し、施設のドライ化や最新調理器具の導入、衛生管理の徹底など、より安全で美味しい給食の提供に努めています。	

学校用教材備品の整備	新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。	教育総務課
【実施状況】	学校備品の更新や必要な教材を購入し、教育環境の向上を図りました。(GIGA端末、大型モニター含む。) ※令和2年度実績 小学校 165,282,211円 中学校 93,347,639円	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○令和2年度は、概ね各校要望どおりの備品を整備することができました。 ○GIGAスクール構想による端末及び大型液晶モニターの整備ができました。 ▲厳しい財政状況の中、計画的な整備が困難となっています。	

少子化に対応した教育環境の向上	「館山市学校再編基本指針」に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編の検討を行います。	教育総務課
【実施状況】	・第二中学校と第三中学校の統合に向け、様々な準備を行いました。 ・令和2年12月に学校再編調査検討委員会から答申(「館山市立小中学校の将来を見据えた学校のあり方について」)がありました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○検討委員会からの答申を踏まえ、将来的な学校規模に関する方針である「学校再編基本指針」の改訂に着手しており、パブリックコメントや説明会や保護者、市民の理解を得ながら、少子化に対応した教育環境の向上に繋げていきます。	

学校区コミュニティの形成	地域との連携協力により、次世代を担う児童生徒を、地域を挙げて育てる体制づくりを行います。	教育総務課
【実施状況】	・学校評価を実施し、その結果について、分析を行うとともに保護者や地域に公開しています。 ・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校運営の改善について検討を重ねています。 ・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。 ・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。	

	<p>・児童生徒の安全確保，また，日頃からの見守り体制を構築するため，安心安全サポーター（地域見守り隊）の方々と定期的に情報交換を行っています。</p> <p>・各校で教育ミニ集会を開催するなど，次代を担う子供たちのより良い成長について地域の方々と考えています。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○学校便り，ホームページやブログ等により，学校行事や取組内容について，地域等に対し情報発信が図られました。</p> <p>▲学校評議員，安心安全サポーター等，学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。</p>	
情報教育環境の整備	<p>時代に沿ったICT環境の整備により，情報通信技術を活用した効果的な指導や学習を行います。</p>	教育総務課
【実施状況】	<p>・授業において，インターネット上の情報を紹介するなど，ICT機器を活用しています。</p> <p>・電子黒板等のICT機器を活用し，分かりやすい指導を行っています。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○ICT機器を活用することにより，児童生徒に対し，身近で具体的な事例を示すことができます。また，電子黒板の活用により，分かりやすく理解の深まる授業が実践できました。</p> <p>▲ICT環境整備に合わせて，教員のICT機器を利活用する技術の向上を図る必要があります。</p>	

第2節 青少年の健全育成強化

基本方針

- 体験講座の開催や青少年育成事業の支援等により，子どもたちへの郷土への誇りや愛着心，生きる力をはぐくむための機会を充実します。
- 地域の人や異学年との関わりの中で，青少年が社会性や規範意識等を身に付け，心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進します。

(1) 青少年の健全育成

計画事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成体制の充実	P T Aや子ども会，青少年相談員，各種社会教育関係団体の自主的な活動に対して支援を行い，青少年の健全育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	<p>青少年の健全育成のため，青少年相談員連絡協議会への補助を行いました，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，内容を見直すことで，代替事業を実施しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○各種事業への補助を実施することにより，市内児童等に対し様々な体験学習機会を提供できました。</p> <p>▲少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の</p>	

	減少や、地域コミュニティの変化による子ども会加入者の減少が懸念されます。
--	--------------------------------------

放課後子供教室の推進	勉強やスポーツ，文化活動，遊びなど，さまざまな体験を行うことができる放課後子供教室を実施します。	生涯学習課
【実施状況】	「新・放課後子ども総合プラン」に基づき，市内全小学校（10校）で小学校の余裕教室等を使用する放課後子供教室を実施しましたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，10～12月の3ヶ月の開催でした。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童が放課後等に地域住民や異学年の児童と交流することで豊かで健やかに育まれる環境作りが図られました。 ▲事業を継続していくためには学童クラブとの連携など，内容の充実を図る必要があります。	

ふるさと体験活動の推進	子どもたちの郷土への愛着心，生きる力をはぐくむため，自然や歴史，文化，農業体験等，幅広い分野の体験講座を開催します。	中央公民館
【実施状況】	親子を対象にした「たてやまワクワク探検隊」でのホテル観察会や「ふるさと館山」の自然に触れ合う「沖ノ島探検隊」を企画しましたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，事業が全て中止となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○広報等で事業の開催を周知しましたが，新型コロナウイルス感染症拡大のため，事業を中止し，感染防止に配慮しました。 ▲コロナ禍での開催のあり方が今後の課題です。	

第3節 生涯学習の推進

基本方針

- 多種多様な生涯学習機会を提供するため、博物館・図書館・公民館のさらなる充実を図ります。
- 市民の自主的な学びやサークル活動を支援するとともに、生涯学習ボランティア制度の活用を通じて、市民の豊富な知識や経験を地域社会に還元してもらうための取組を推進します。

(1) 学習機会の提供

計画事業名	事業内容	担当課
生涯学習講座・教室の開催	豊かな地域資源を活用し、多様な学習機会の提供により、市民の自主的な学習活動を促進します。	中央公民館 図書館
【実施状況】	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人講座，家庭教育講座，青少年講座を企画しました。 ・地区公民館において，地域のニーズに配慮した講座を企画しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，ほとんどの講座が中止となりました。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により，予定していた図書館講座は中止しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】</p> <p>○各種講座は市民のニーズを反映した内容を企画し，広報等で事業の開催を周知しましたが，新型コロナウイルス感染症拡大のため，ほとんどの事業を中止し，感染防止に配慮しました。</p> <p>▲コロナ禍での講座の開催のあり方が今後の課題です。</p> <p>【図書館】</p> <p>▲利用者のニーズを把握し，図書館と図書館資料の更なる活用につながる事業を企画・実施していく必要があります。</p>	

家庭教育事業の推進	家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上と，子育てについての情報提供・相談窓口の充実により，家庭教育力の向上を図ります。	中央公民館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を企画しました。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の企画・運営をしました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，ほとんどの家庭教育学級が中止となりました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○一部開催の家庭教育学級等の事業を通じて，家庭教育力の向上，保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができました。	

	▲コロナ禍での家庭教育学級や講座の開催のあり方が今後の課題です。
--	----------------------------------

児童サービスの充実	子どもの発達段階に対応した魅力的な書架づくりと、おはなし会の開催など児童と本を結びつけるきっかけづくりを行い、本の楽しさに触れられる機会を提供します。	図書館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童を対象に、豊かな想像力と語学力が育まれるよう読書支援の一環として、「おはなし会」を開催しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、「わらべうたの会」や児童向けの図書館講座は中止しました。 ・図書館を利用しやすくする環境整備として、キッズタイムを実施しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○行事を通じ、本と親しむきっかけづくりとしての読書支援や図書館の活用・理解を促進する機会を提供することができました。</p> <p>○乳幼児とその保護者への働きかけや利用しやすい環境を整えることで、誰もが使いやすく親しみやすい図書館づくりにつながっています。</p> <p>▲中高生年代への読書支援として、「ティーンズコーナー」を設置し、資料整備を行っていますが、読書の楽しさや面白さを伝えられる取組みを行っていく必要があります。</p>	

図書館機能の充実	市民の課題解決に役立つ図書を収集するとともに、資料の効率的な整理やインターネットによる蔵書検索・予約等のサービス提供、調べ方の案内や資料に関する情報の提供により、市民の多様なニーズに対応します。	図書館																
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月を臨時休館しましたが、休館中に郵送貸出や予約本の貸出を実施しました。 ・資料の購入や寄贈の受入を行い、利用に供するとともに、資料を基に利用者への貸出や調査相談を行いました。 <p><令和2年度></p> <table border="0"> <tr> <td>所蔵資料点数</td> <td>160,263点</td> </tr> <tr> <td>資料購入点数</td> <td>1,472点</td> </tr> <tr> <td>資料寄贈受入点数</td> <td>497点</td> </tr> <tr> <td>資料貸出点数</td> <td>88,391点</td> </tr> <tr> <td>レファレンス受付件数</td> <td>1,528件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムを用い確実な資料管理に努めるとともに、インターネット検索・予約等で利用者の利便性を図りました。 <p><令和2年度></p> <table border="0"> <tr> <td>予約総件数</td> <td>6,161件</td> </tr> <tr> <td>うちインターネット予約件数</td> <td>4,187件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の読める電子図書館サービスを開始しました。 <p><令和2年度></p> <table border="0"> <tr> <td>電子書籍貸出点数</td> <td>451点</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広いジャンルの図書館資料に利用者が触れられるよう、様々なテーマでの企画展示を行いました。 	所蔵資料点数	160,263点	資料購入点数	1,472点	資料寄贈受入点数	497点	資料貸出点数	88,391点	レファレンス受付件数	1,528件	予約総件数	6,161件	うちインターネット予約件数	4,187件	電子書籍貸出点数	451点	
所蔵資料点数	160,263点																	
資料購入点数	1,472点																	
資料寄贈受入点数	497点																	
資料貸出点数	88,391点																	
レファレンス受付件数	1,528件																	
予約総件数	6,161件																	
うちインターネット予約件数	4,187件																	
電子書籍貸出点数	451点																	

<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○時季の話題に関する資料展示を定期的に行い、市民の読書への関心と興味の幅を広げることにより、図書館利用の促進を図りました。</p> <p>○来館しなくても読書の機会を提供する環境整備を行い、市民の利便性の向上を図りました。</p> <p>▲経年の資料の蓄積により、収蔵能力が限界を迎えています。</p> <p>▲地域特性や利用ニーズを的確にとらえ、資料整備の充実を図っていくために、継続した専門職の人材配置が必要です。</p> <p>▲災害発生時や感染症対策への対応の見直しが課題です。</p>
--------------------------------	--

(2) 学習活動の支援

計画事業名	事業内容	担当課
サークル活動の支援	<p>新たなサークル参加者を増やすための活動や自主的なサークル活動の支援を行い、サークル活動の活性化を図ります。</p>	中央公民館 博物館
【 実施状況 】	<p>【中央公民館】 中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業を企画しました。なお、サークルフェスティバルの開催については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。</p> <p>【博物館】 市民サークル「城山古文書会」へ、助言者として学芸員が参加し、より正確性の高い学習機会を確保しました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>【中央公民館】 ○毎年開催しているサークルフェスティバルは多数のサークルが参加し、それぞれのサークルの活動状況を説明し合うことで、サークル間や個人間の交流や親睦が促進され、サークル活動の活性化に繋がっています。</p> <p>○サークルフェスティバルの開催は、不特定多数の人（特に高齢者）が集まることが予想されること、各団体による準備段階における密状態を避ける必要があることから、参加者、関係者の健康・安全を守ることが最優先と考え、中止としました。</p> <p>▲コロナ禍でのサークルフェスティバルの開催のあり方が今後の課題です。</p> <p>【博物館】 ○自主的な学習機会などの市民の自己表現の場としての活動に寄与しました。</p> <p>▲博物館講座受講生が自主的に活躍できるよう、活動支援を継続します。</p>	

生涯学習ボランティア制度の充実	<p>学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用するための仕組みづくりを進めます。</p>	生涯学習課 博物館
【 実施状況 】	<p>【生涯学習課】 市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より実施件数・参加人数は減少しました。</p> <p>【博物館】 ミュージアムサポーター「甲冑士」による歴史体験教室「甲冑を着よう」は、毎月第2・第4日曜日を予定していましたが、</p>	

	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しました。 ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップを作成し、博物館ホームページ内のフィールドミュージアムで公開、印刷物の館内配付、博物館内での展示を実施しました。</p> <p>マップ作成数 3件 ・やわたんまちと出祭神社 ・わたしのまちの歴史探訪 ― 稲区と稲村城跡 ― ・安房の芭蕉句碑Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 文化財マップ展 7回（上半期3回，下半期4回）</p>
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>【生涯学習課】 ○学校支援活動においては学習支援、環境美化が図られました。また、本事業を通じて市民の学びの還元を図る機会を提供することができました。 ▲豊富な知識・経験を有する市民は潜在していると考えられますが、それら人材のより一層の活用を図ることが課題です。</p> <p>【博物館】 ○地域人材の活用によるボランティアの拡充、博物館事業の充実を図りました。 ▲ボランティアが継続して活動できる環境、体制の整備が必要です。 ▲ボランティアの高齢化に伴い、定期的な事業を行うための人材確保が難しくなっています。 ▲指定管理者等との連携も踏まえ、持続可能なボランティアの仕組みづくりが必要です。</p>

第4節 歴史の継承と文化の振興

基本方針

- 寺社，史跡，歴史的建造物や民俗芸能，博物館が収蔵する歴史文化遺産の活用により，観光やまちづくりなど，地域の活性化につながる取組を進めます。
- 市民自らが，主体的に芸術文化活動ができるように，発表する場の提供や情報提供に取り組んでいきます。

(1) 歴史・文化の保存・継承

計画事業名	事業内容	担当課
郷土に関する展覧会・講座等の充実	歴史文化遺産の展示公開や郷土の魅力を理解する講座の拡充を図ることにより，郷土に対する誇りや愛着心がはぐくみます。	博物館 中央公民館
【実施状況】	<p>【博物館】 ＜常設展示＞ 本館：館山，安房地方の歴史と民俗</p>	

	<p>分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活 八犬伝博物館（館山城）：南総里見八犬伝の世界 ＜企画展・特別展＞ ①新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」 （6/2～7/26 入館者4,557人） ②収蔵資料展「健康地・房州」 （8/1～10/4 入館者数10,508人） ③新・地区展「館野」 （10/14～12/27 入館者数9,456人） ④企画展「武士たちの明治」 （2/6～3/21 入館者数11,940人） ＜普及事業＞ 歴史体験教室「甲冑を着よう」 新型コロナウイルス感染症対策（密接を避ける）のため中止 歴史教室「古文書を読んでみよう」 （各クラス8回×4クラス，受講生92人） 歴史教室「活弁八犬伝」 （全2回，参加者数19人） 図書館博物館合同企画「なつやすみ宿題大作戦」 小学校夏季休暇縮小につき中止 昔のくらし解説 （4校 参加者数178人） 【中央公民館】 ・一般市民を対象とした、「ふるさと講座」については，地域の歴史や文化，自然のほか，その時期に即したテーマの講座を5回開催しました。</p>	
<p>【成果と課題】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>【博物館】 ○地域の歴史資料や文化財を展示，公開することにより，郷土を知る手がかりを提供しました。 ○市民の歴史への興味や関心に応え，情報発信するとともに，学芸員による解説を通じて正確な情報理解がなされるように努めました。 ○人を参集させる解説会に替わって，市公式YouTubeチャンネル上で，学芸員による企画展解説を配信しました。 ▲市内に存在する歴史資料を恒常的に掘り起こし，活用する方法を工夫することが必要です。 ▲動画配信を積極的に展開し，コロナ禍における博物館運営に工夫を凝らすことが必要です。 【中央公民館】 ○「ふるさと講座」に参加し，郷土に関する知識を得たことで，参加者の「ふるさとへの愛着」がはぐくまれました。 ▲コロナ禍での講座の開催のあり方が今後の課題です。</p>	
<p>郷土資料の収集・保存と提供</p>	<p>歴史文化など地域資源の情報発信や地域課題の解決という視点から，郷土資料の収集・保存と情報提供機能の充実を図ります。</p>	<p>博物館 図書館</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>【博物館】 令和2年度資料収集点数 11,654点 令和2年度末保有資料 102,185点 【図書館】</p>	

	<p>・図書を中心に、館山・安房地域にゆかりのある作家の著作や歴史・伝統文化に関する資料や行政資料などの郷土資料の収集・整理・提供を行いました。</p> <p><令和2年度></p> <p>郷土資料所蔵点数 7,733点</p> <p>郷土資料貸出点数 227点</p>
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【博物館】</p> <p>○様々な社会状況により歴史的な地域文化資料が滅失する中で、保護すべき資料の収集に努めました。</p> <p>▲収集品を収める収蔵スペースには制限があるため、スペースの有効活用と拡大が必要です。</p> <p>【図書館】</p> <p>○一般流通していない郷土資料や行政資料についても、寄贈等により広く収集を行いました。</p> <p>▲郷土の歴史を未来に伝えていくために、継続的な郷土資料収集・保存を行い、利活用を図りながら継承していく必要があります。</p>

博物館機能の充実	博物館本館・館山城・渚の博物館，それぞれの特色を活かしつつ，効率的な運営方法を検討します。	博物館								
【実施状況】	<p><指定管理者による運営></p> <p>本館，八犬伝博物館（館山城）他において，指定管理者による運営を実施しました。</p> <p>指定管理者 株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫</p> <p>期 間 令和元年12月1日～令和6年11月30日 延長条件により更に5年間の期間延長可</p> <p><施設設備の維持管理></p> <p>老朽化や故障に対応し，施設設備の修繕等を実施しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>本館屋外展示場梁・桁等補修工事</td> <td>960,300円</td> </tr> <tr> <td>本館職員トイレ排水管修理</td> <td>99,110円</td> </tr> <tr> <td>本館浄化槽制御盤修理</td> <td>77,000円</td> </tr> <tr> <td>館山城防災設備修繕工事</td> <td>368,500円外11件</td> </tr> </table> <p><不可抗力による臨時休館></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，臨時休館を実施しました。</p> <p>期間 令和2年4月1日～5月31日 日数 61日間（うち通常休館日8日）</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策></p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により，衛生対策としての設備改修や，コロナ禍での博物館運営に必要な備品整備を行いました。</p> <p>施設：トイレ手洗自動水栓化改修 講座，教室用の3人掛机を1人掛に変更</p> <p>備品：デジタルサイネージ（お知らせ等の一括表示） 床表示用ラベル，シール</p>		本館屋外展示場梁・桁等補修工事	960,300円	本館職員トイレ排水管修理	99,110円	本館浄化槽制御盤修理	77,000円	館山城防災設備修繕工事	368,500円外11件
本館屋外展示場梁・桁等補修工事	960,300円									
本館職員トイレ排水管修理	99,110円									
本館浄化槽制御盤修理	77,000円									
館山城防災設備修繕工事	368,500円外11件									

	動画配信用ビデオカメラ, 編集機材 受付カウンターシールド 他
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p><指定管理者による運営> ○指定管理者による以下の業務と連携を図り, より魅力的な施設とするため適正な管理運営を実施しました。 本館 …受付業務 館山城 …受付業務, 施設運営業務, 維持管理業務の一部 渚の博物館…受付業務 ○城山公園と運営を一体化させたことで, 両者を連携させた運営が可能となりました。 ▲臨時休館に伴い, 指定管理者と協議し, 施設の利用制限に対する休業補償を行いました。 補償対象期間 令和2年2月29日~令和2年5月31日 補償額 3,551,188円</p> <p><施設設備の維持管理> ○施設設備の延命化と適正な機能保全に努めました。 ▲施設等の老朽化が進む中, 適正な維持管理を実施し, 博物館入館者に対し快適な空間, 環境を提供することが必要です。</p> <p><不可抗力による臨時休館> ○施設閉鎖により, 新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めました。 ▲コロナ禍の社会が継続し休館措置が余儀なくされると, 博物館入館者の減につながり, 指定管理者の利用料金収入に影響を及ぼします。 休館措置だけでなく, 入館者の安全, 衛生対策を講じた新しい博物館運営を構築していく必要があります。</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策> ○施設, 備品の両面で対応策を講じました。 ▲博物館においては, 展示品の保全の観点から, 十分な換気対策が困難な場合があります。 ▲入館者に対して, 入口での手消毒, マスク着用, 密を避け時間差を設けた入館などの感染防止対策を引き続きお願いする必要があります。</p>

文化財の保存・活用	文化財の調査・指定により, 修復や防災対策等, 保存に必要な措置を計画的に行います。 また, 活用を図るため, 広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。	生涯学習課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに指定された文化を説明するための看板を2箇所と標柱を1箇所設置しました。 ・破損した2箇所の文化財説明看板の修理と1箇所の看板を修正しました。 	

【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○指定文化財等の説明看板を整備することにより、来訪者に対する文化財への理解を深めることができました。 ▲国・県・市の指定文化財や登録文化財等を合わせると100箇所以上となるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。
----------------------	--

観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	寺社、戦国大名里見氏、青木繁「海の幸」、近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人などを観光やまちづくりに活かします。	生涯学習課
【実施状況】	赤山地下壕跡については、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により休壕期間があったため、21,168人の入場にとどまりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○赤山地下壕跡については、平成16年の一般公開以来、観光客に手軽に見学できる施設として人気が高まっています。 ▲入壕者数を維持していくために、受付業務の受託者や他の施設との連携や地下壕関連商品の開発が必要となります。また、コロナ対策として安全・安心な施設整備が必要となります。	

民俗芸能伝承者の育成	民俗芸能大会への出演支援や継承のための映像記録作成により、伝承者の育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	地域伝統芸能保存事業として、平成30年度に民間助成金を利用して作製した「館山市の御船歌」映像記録解説書を豊津ホール等で販売しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○地区の伝承されている祭礼の保存に対する補助及びパンフレットによる紹介に対する補助を行うことにより地域コミュニティの活性化と観光資産としての活用が図られます。 ▲少子高齢化により伝承者が減少しており、さらに新型コロナウイルスの影響により後継者の育成が難しくなっています。	

国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。 また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。	生涯学習課
【実施状況】	稲村城跡の整備のため、地元地区に保存管理業務を委託し、草刈り等の環境整備を行いました。また、臨時駐車場から稲村城跡までの案内看板を制作し、設置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○国指定史跡としての稲村城跡の整備を行うことにより、史跡に対する地域の理解と、来訪者に対する観光資産としての活用を図ることができました。 ▲史跡として整備を進めるにあたり、食のまちづくりの整備に合わせた連携を図る必要があります。また、南房総市にある国史跡岡本城跡との連携した整備も必要となります。	

ふるさと情報の発信強化	館山市の歴史文化等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」により発信し利便性の向上と地域の魅力発信に努めます。	博物館
【実施状況】	博物館が蓄積する地域の歴史、民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」として公開することで、館山の魅力を広く発信しました。また、文化庁「文化遺産オンライン」を活用し、当館収蔵資料を公開しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、自宅で博物館情報を得られる「おうちミュージアム」を博物館ホームページに開設しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○インターネット上で公開することにより、館山市の歴史や文化に関する情報資産を迅速に活用できるようにしました。 ▲コロナ禍の状況に係わらず、博物館運営の重要な施策として、今後も情報発信を強化していくことが必要です。	

(2) 文化の振興

計画事業名	事業内容	担当課
芸術文化活動の充実	「館山市文化祭」、「館山市サークルフェスティバル」など、芸術文化活動の発表の場を提供し、市民の自主的な活動を支援します。	生涯学習課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は、市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、音楽鑑賞協会・芸術文化協会・茶道連盟の活動に対して補助を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりました。 ・館山市サークルフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○各団体に対し補助を行うことにより、円滑な事業の実施ができ、市民に対し優れた文化鑑賞等の機会を提供するところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりました。 ▲各団体の高齢化による会員の固定化や減少があり、団体組織の活性化が課題となっています。	

全国大学フラメンコフェスティバルの開催	館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」といったイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口の拡大を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	例年は、全国の大学生等と連携し、他に類の無いイベントである全国大学フラメンコフェスティバルや関連事業の花火とフラメンコ等を実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送りました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○フラメンコフェスティバルが実施できない対応策として、YouTube 館山市公式チャンネル「全国大学フラメンコフェスティバル紹介動画」（全4回）の配信を行ったことで来年度に繋げる活動ができました。 ▲参加者が年々減少していく傾向にあり、また、特定の関係者の尽力により維持している部分もあり、今後の事業の継続に対する対策が必要となります。	

第5節 スポーツ振興によるまちづくり

基本方針

- 市民が生涯を通じてスポーツに触れ合う機会を提供し、市民の健康維持や、活力ある社会の実現を目指します。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会によるレガシー(遺産)を見据えたまちづくりを推進します。
- スポーツ観光を推進し、スポーツによる交流人口の拡大を目指します。

(1) 市民スポーツの振興

計画事業名	事業内容	担当課
生涯スポーツの機会 拡充	「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や、各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツイベントの中止や延期、外出自粛による運動機会の減少など、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要になっています。このような中、スポーツに最適なこの地で、スポーツを通じて健康づくりに励んでほしいとの願いから、「スポーツ健康都市」を宣言し、コロナ禍における新しい生活様式の中での取り組みとして、スマホアプリを活用したイベント開催や館山市のホームページで自宅でも簡単にできる運動の動画配信等を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○コロナ禍における新しい生活様式の中で運動習慣の機運醸成を図ることができました。 ▲コロナの収束が見えない中、運動不足やストレスによる健康二次被害の拡大を防ぐため、新しい生活様式に対応した運動習慣の機運醸成の継続及び拡大を図る必要があります。	
社会体育団体の育成 支援	社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。	スポーツ課
【実施状況】	館山市スポーツ協会（24団体・会員約3,800人）、館山市スポーツ少年団（26団体・団員385人・指導者119人）へ補助金を交付し、活動を支援しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、県民体育大会はじめ各種大会が中止や縮小となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○館山市スポーツ協会及び館山市スポーツ少年団の活動を通じて、生涯スポーツ、競技スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与することができました。 ▲少子高齢化により会員数が減少傾向となっています。	

社会体育施設の整備 充実	生涯スポーツの推進のため、既存施設の適切な維持管理・整備を行い、利用者の利便性・安全性の確保に努めます。	スポーツ課
【実施状況】	<p>施設の適切な維持管理、整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一柔剣道場：排熱対策改善，照明器具改修 ・温水プール：内壁改修 ・市民運動場：バックネット改修 ・市民体育館：入口天井雨漏り修繕（コロナ対策工事） ・市民運動場：トイレ器具改修（災害復旧工事） ・市民運動場：トイレ器具改修，庭球場フェンス復旧 ・温水プール：非常口台風被害復旧，軒天復旧 ・弓道場：矢止め板台風被害復旧 ・出野尾多目的広場：防球ネット台風被害復旧 <p>また，新型コロナウイルス感染症の影響を受け，施設利用制限や利用者の消毒作業などの感染対策を行い，施設の適切な運用と利用者の安全確保に努めました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○施設の維持管理，整備，新型コロナウイルス感染症対策を行い，利用者が安全安心に利用できる環境づくりを行いました。</p> <p>▲施設の老朽化が進む中，計画的に修繕や改修を行い，安全性を確保していく必要があります。</p>	

学校体育施設開放	小・中学校の体育館・グラウンド・プール等を市民に開放し，市民の健康増進や体力づくり，地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	<p>新型コロナウイルス感染症の対策を図ったうえで，スポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して，小学校8校及び中学校4校の体育館・グラウンド・武道館の開放事業を行いました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○学校体育施設の開放により，スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し，生涯スポーツを推進しました。</p> <p>▲学校体育施設の利用に当たって，施設の破損，喫煙，ゴミ処理などの利用マナーについて，徹底していく必要があります。</p>	

(2) スポーツ観光の推進

計画事業名	事業内容	担当課
オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を見据えたまちづくり	<p>観光施策と融合したスポーツ観光を推進し，館山湾をはじめとする自然環境や既存施設等の有効活用により，対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。</p> <p>さらに，市民のスポーツへの関心を高め，健康増進や体力づくり，競技力の向上に努めます。</p>	スポーツ課

<p>【 実施状況 】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会は延期となり、2020年の館山市での事前キャンプは中止となりました。</p> <p>コロナ禍における外出自粛などにより運動機会が減少する中、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要となっており、新しい生活様式の下、「スポーツ健康都市」を宣言しました。</p> <p>また、スポーツ庁が、2020東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーに向けて、一人ひとりが自然とスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康になり、毎日をいきいきと過ごせるようになることと提唱している「Sport in Life」プロジェクトに加盟しました。</p> <p>館山市においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、自粛生活でのストレスや健康二次被害が懸念される中、一人でもできる運動や健康増進の取り組みが今こそ大事であるとの考えから、スマホアプリを使ったイベントの開催、自宅でも簡単にできる運動の動画配信や、ウォーキングコース等を市のホームページに掲載し、コロナ禍での「生活の中に溶け込んだスポーツのあり方」について、様々な提案を行いました。</p> <p>従来のスポーツイベントについても感染防止対策を講じながら開催の方策を検討していくこととしました。</p>
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○オランダトライアスロン・USAトライアスロンの事前キャンプ誘致については、2021年度の実施に向け、継続して取り組んできました。</p> <p>内閣官房や千葉県のアリパラ担当者との情報交換や、宿泊施設との連携強化を図り、新型コロナウイルスの感染防止に向けた対策を講じた上での事前キャンプ受け入れ準備体制を整えました。</p> <p>▲2019年にオランダトライアスロン・USAトライアスロンが事前キャンプを実施し、選手がキャンプの状況をSNSなどで発信したことで、館山市を世界中にアピールできましたが、その後も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、自転車愛好家などの来館者の減少等、交流人口が減っています。</p> <p>2020東京オリンピック・パラリンピック終了後、また新型コロナの感染状況が収束後には、再び交流人口が活発になるよう、スポーツ観光の推進や競技団体等との関係性を継続していく必要があります。</p>

<p>館山若潮マラソン大会の魅力向上</p>	<p>大会環境の向上とスポーツボランティアの育成・拡大に努め、大会参加者・地域住民などのニーズを可能な限り反映した大会運営を行います。</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は、大会初の中止となりました</p>	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○令和2年度は、残念ながら中止となりましたが、館山若潮マラソンは、市内・市外から多くのランナーやボランティア等に支持される安房地域最大のスポーツイベントとして定着しており、市民の健康・体力保持増進、スポーツ観光による地域経済の活性化に大きく寄与しています。</p>	

	▲コロナ禍においては、これまでの1万人規模の参加者を集めて一斉スタートの形式ではなく、新しい生活様式を取り入れたうえで、館山若潮マラソンの魅力を生かした分散型イベントの開催が必要です。	
スポーツイベントの開催	自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。	スポーツ課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツイベントの中止や延期となりましたが、コロナ禍における新しい生活様式を取り入れたスマホアプリを活用したウォーキングイベントを開催しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○コロナ禍における運動不足による健康二次被害も懸念される中、新しい生活様式に対応したスマホアプリを活用したイベントを開催し、市民の健康の保持・増進、ストレス解消に寄与することができました。 ▲コロナ禍においては、新しい生活様式を取り入れたイベント開催に加え、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要です。	